

「つや姫」も刈取適期に入っています！ 速やかに刈取り！きめ細かな乾燥調製を！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

◎登熟状況

農業総合研究センターの「つや姫」（8月8日出穂）の登熟歩合は、9月16日現在で85.6%となっており、登熟はほぼ完了したとみられます（図1）。

◎当面の技術対策

■籾水分は、急激に低下！適期刈取りを徹底！

今年は出穂後の高温で胴割粒の発生しやすい条件となっています。刈取適期を過ぎると胴割粒の急増が懸念されることから（図2）、適期内に刈取りが終わるように、作業を進めましょう。

表 出穂後積算気温からみた「つや姫」の刈取晩限

地域（市町名）	出穂期	9月16日までの積算気温	刈取晩限（目安）
村山（山形）	8/7	1,060℃	9/22
最上（新庄）	8/9	952℃	10/1
置賜（川西）	8/9	965℃	9/30
庄内（酒田）	8/7	1,077℃	9/21

注1）各地域の生育診断圃の出穂期、代表地点のメッシュ気象データから算出

注2）刈取時期の目安となる積算気温は、950～1,200℃（村山、庄内は900～1,150℃）

■きめ細かな乾燥調製で最高品質に！

- （1）急激な籾の乾燥は、胴割粒の発生要因となります。二段乾燥を行うなど、丁寧に乾燥しましょう。
- （2）籾すりを行う前には、必ず「試し摺り」を行い、肌ずれ、碎米、胴割れ、籾及び夾雑物混入等がないことを確認してから作業に入りましょう。
- （3）選別は1.90mm網目（LL）（「雪若丸」は1.95mm（GL）推奨）の使用を基本とし、整粒歩合の向上を図りましょう。
- （4）白未熟粒や着色粒は色彩選別機等で取り除き、高品質米に仕上げて出荷します。

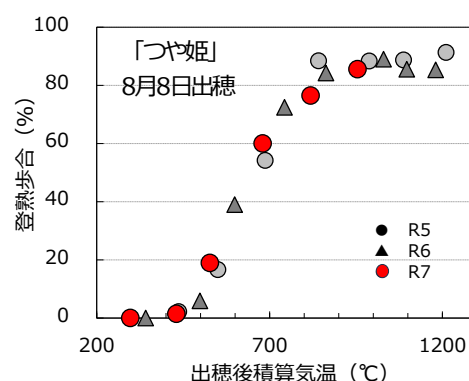


図1 出穂後積算気温と登熟歩合

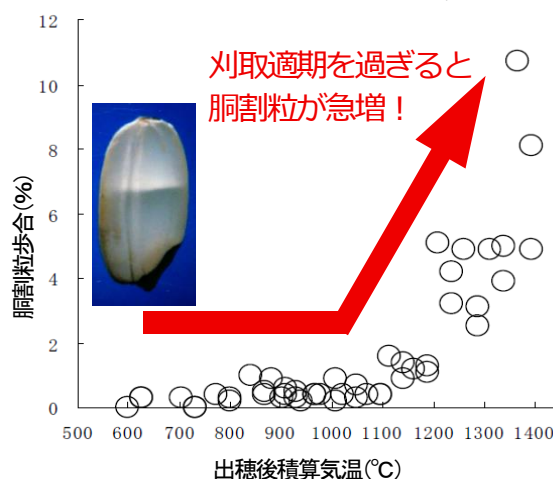


図2 「つや姫」の胴割粒歩合の推移
(H22、農総研セ n糶数2.8～3.5 万粒)

農作業事故に十分注意してください！